



立教大学経済研究所主催公開講演会

参加費無料
同時通訳あり！
(日英)

給付付き税額控除はいかにあるべきか ヨーロッパにおける最低所得保障研究の最前線



ヨーロッパにおける最低所得保障研究の第一人者！イヴ・マルクス教授に最先端の研究と政策の動向について語っていただきます。

イヴ・マルクス氏

(アントワープ大学教授、ヨーロッパ社会
政策分析ネットワーク共同代表)
【2026年度立教大学招へい研究員】

司会&コーディネーター

菅沼 隆 (本学経済学部特別専任教授)



コメンテーター

阿部 彩氏

(都立大学人文社会学部教授)

日時

**2026年
5月21日(木) 18:00~20:00**

会場

立教大学 池袋キャンパス
太刀川記念館3階 カンファレンスルーム

対象

本学学生・大学院生・教職員・一般

共催

学術変革領域「貧困学の確立」
(JSPS 22H05098、代表：阿部 彩)

事前申込み要
申込みはこちらから



【問い合わせ】立教大学経済研究所

Tel:03-3985-4121 E-mail: r-inst-e@rikkyo.ac.jp

【内容】

給付付き税額控除の導入が議論されている。ヨーロッパの最低所得保障制度研究の第一人者であるIve Marx教授を招き、給付付き税額控除を含む最低所得保障制度をめぐるヨーロッパの最先端の研究と政策の動向について講演をしていただく。給付付き税額控除が、貧困対策の「切り札」と見なされがちであるが、既存の社会扶助（生活保護）や低賃金対策など他の政策と関連させて検討されなければならない。また、その制度設計のあり方は多種多様で、ヨーロッパでは多くの試みがなされている。ヨーロッパを俯瞰し、広い視野から給付付き税額控除のあり方について実証的・理論的に論じていただく。

コメンテーターとして日本の貧困研究の第一人者である都立大学の阿部彩教授に登壇いただき、議論を深める。

【タイムスケジュール】

- 18:00～18:05 司会挨拶
- 18:05～18:55 イヴ・マルクス氏 講演
- 18:55～19:05 休憩
- 19:05～19:15 阿部彩氏 コメント
- 19:15～19:20 イヴ・マルクス氏 リプライ
- 19:20～19:55 参加者との質疑
- 19:55～20:00 閉会挨拶

【講師プロフィール】

イヴ・マルクス氏：Ive Marx：ベルギー・アントワープ大学教授。専門領域は貧困と最低所得保障制度。欧州連合助成欧州低賃金研究ネットワークEuropean Low Wage Research Network (LoWER) 共同代表。ヨーロッパ社会政策分析ネットワークEuropean Social Policy Analysis network ESPA-net共同代表。

※ ESPA-netはヨーロッパの社会政策研究者の代表的な学術ネットワークである。

主な著作：

- “Zero Poverty Society: Ensuring a Decent Income for All” 『貧困ゼロ社会：すべての人にディーセントな所得を』, Oxford University Press, (Sarah Marchalと共著) (2024)
- ”Handbook on In-Work Poverty” [『労働貧困ハンドブック』] Edward Elger Press, (編著) (2018)
- ”Minimum Income Protection in Flux” [『流動する最低所得保障』], Springer, (2013)

阿部 彩 氏：東京都立大学人文社会学部教授。専門領域は貧困研究。日本学術会議会員。社会政策学会幹事。

主な著作：

- 『自助社会を終わらせる』、岩波書店（宮本太郎らと共著）（2022）
- 『貧困を救えない日本』、PHP研究所（鈴木大介と共著）（2018）
- 『子どもの貧困II - 解決策を考える』、岩波書店（2014）